

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2016年19週 (5月2週 5/9~5/15)

2016年4月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

流行性耳下腺炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑、咽頭結膜熱、後天性免疫不全症候群病原体検出情報

定点医療機関コメント

感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌感染症、インフルエンザ、流行性耳下腺炎、咽頭結膜熱等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(30)、腸管出血性大腸菌感染症(2)、レジオネラ症(1)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、後天性免疫不全症候群(4)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(2)、侵襲性肺炎球菌感染症(8)、梅毒(8)

2016年4月報

定点把握感染症報告数 (保健所別・年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

流行性耳下腺炎(図1)

流行性耳下腺炎は、ムンプス、おたふくかぜとも呼ばれ、最も多い合併症として髄膜炎があり、学校保健安全法(第2種感染症)で出席停止期間が定められています。

19週の定点当たり報告数は0.63、18週109人 19週114人(1.05倍)です。

【参考ページ】流行性耳下腺炎(国立感染症研究所)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/529-mumps.html>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(図2)

19週の定点当たり報告数は2.28、18週272人 19週415人(1.53倍)です。

【参考ページ】A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html

伝染性紅斑

19週の定点当たり報告数は0.35、18週34人 19週64人(1.88倍)です。

咽頭結膜熱

19週の定点当たり報告数は0.41、18週46人 19週75人(1.63倍)です。

後天性免疫不全症候群(図3)

2016年19週までの累積報告数(診断週集計)は28件(男24件、女4件)です。2015年19週までの累積報告数は37件(男34件、女3件)、2015年総報告数は107件(男99件、女8件)でした。

全国の2016年18週までの累積報告数は477件です(2015年総報告数は1,431件)。

6月1日から6月7日は「HIV検査普及週間」です。今年度も休日エイズ即日検査を実施します。

【参考ページ】平成28年度「HIV検査普及週間」について(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000082980.html>

アイチエイズインフォメーション(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/aids/>

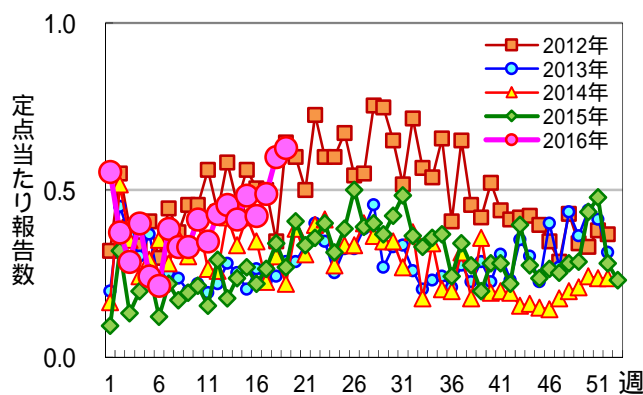


図1 流行性耳下腺炎

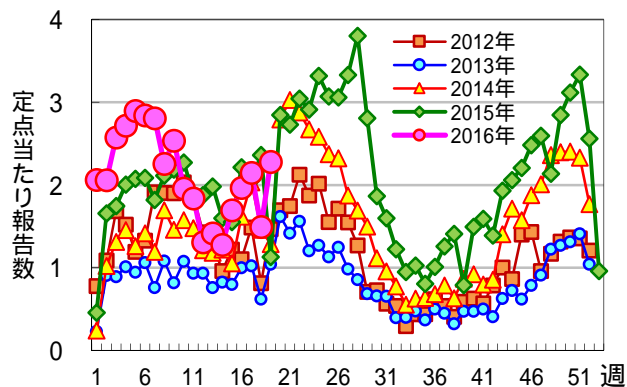


図2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

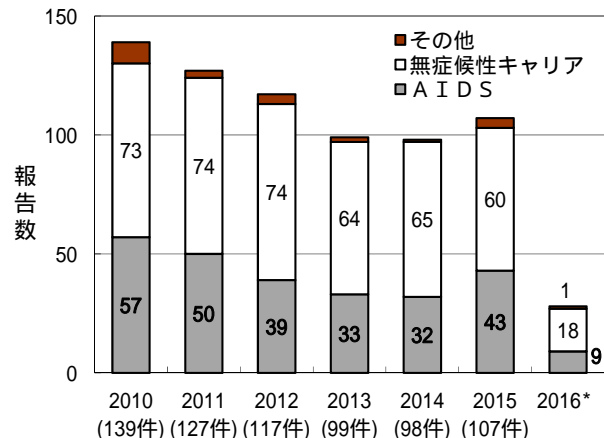


図3 後天性免疫不全症候群の年別・病型別報告数(愛知県、診断週集計 *2016年は2016年5月18日現在)

病原体検出情報 2016年疾患別ウイルス検出速報 (2016年5月16日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	*インフルエンザ	**麻疹・風疹
患者数	126	1	-	4	9	6	9	289	1(8)
CV-B5	1	-	-	-	-	-	-	-	-
FluAH1pdm	-	-	-	-	-	-	1	87	(2)
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	9	-
FluB(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	44	-
FluB(山形)	-	-	-	-	-	-	1	81	-
RUBV	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)
Rota A G1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G2	-	-	-	-	-	-	1	-	-
Rota A G9	3	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GI	4	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GII	50	-	-	-	-	-	2	-	-
AstV	6	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-2	1	-	-	2	-	-	-	1	-
Ad-3	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-4	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-5	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-41	4	-	-	-	-	-	-	-	-
B19V	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)
検査中	62	-	-	1	4	5	1	51	(2)
陰性	7	1	-	1	5	1	4	16	1(2)

*インフルエンザは2015/2016シーズンの結果

**麻疹・風疹の()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略:ウイルス名

Ad: アデノウイルス、AstV: アストロウイルス、B19V: ヒトパルボウイルスB19、

CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、FluAH1pdm: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、

FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、

FluB(山形): 同(山形系統)、NV: ノロウイルス、Rota A: ロタウイルスA、RUBV: 風疹ウイルス

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

成人女 インフルエンザB型 1名
【一宮市 後藤小児科医院】

先週分から

8歳 11歳兄弟 カンピロバクター腸炎

1歳女 サルモネラO9群検出

2歳女 ロタ(+)

【一宮市 あさのこどもクリニック】
ムンプス3名、A群溶連菌14名と目立ちます。

【犬山市 武内医院】
流行性耳下腺炎、溶連菌感染症やや目立ちます。
感染性胃腸炎は減少しています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

溶連菌感染症、流行性耳下腺炎が目立ってきました。

メタニューモも続発中(6例)

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
インフルエンザは0件

溶連菌は21件、おたふく7件、アデノ4件

【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
インフルエンザA 1名

【北名古屋市 田中クリニック】

12歳女 34歳男 カンピロバクター検出

【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

インフルエンザは見られなくなりました。

溶連菌感染症で少し目立ちます。

アデノウイルス感染症ありました。

その他突発疹等

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
ロタは多いです。

RSV、ADVも散見されます。

インフルエンザは大人2名(A型1名、B型1名)、
小児0名

【春日井市 春日井市民病院】

溶連菌 8例

胃腸炎 12例

溶連菌に関連し、紫斑病が2例みられました。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

インフルエンザはB型1例のみ

【小牧市 志水こどもクリニック】

感染性胃腸炎散発

【南知多町 医療法人大岩医院】

胃腸炎が目立ちました。

ロタウイルス胃腸炎 1名(3歳)

アデノウイルス感染症 2名(1歳、3歳)

【東海市 もしもしこどもクリニック】

4歳女 インフルエンザB型

6歳男 病原大腸菌O1(+)/ペロトキシン(-)

カンピロバクター(+)

3か月女 RSウイルス

【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

StrepA(+) 10歳女

マイコプラズマ肺炎 8歳男

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

マイコプラズマ 19歳女

【豊田市 わかぞの東洋クリニック】

マイコプラズマ核酸 1人 7歳男

【豊田市 すくすくこどもクリニック】

インフルエンザ陽性B型 2名

【豊田市 愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院】

マイコプラズマ肺炎 7歳女

サルモネラ 9歳男

夏カゼ様の子が見られ始めた(手足口病等)。

【岡崎市 花田こどもクリニック】

感染性胃腸炎が目立ちます。

【碧南市 永井小児クリニック】

インフルエンザA型 2名

【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】

ワクチン1回施行ズミの子のおたふくが多い。

【知立市 宮谷クリニック】

今週は又、感染性胃腸炎が少し目立ちました。

【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

アデノウイルス感染症の子が時々います。

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

小学生のロタウイルス感染4名あり。

【豊橋市 独立行政法人国立病院機構豊橋医療センター】

病原性大腸菌O86 13歳男

病原性大腸菌O18 6歳女

病原性大腸菌O15 1歳男

【豊川市 ささき小児科】

ヒトメタニューモ 1歳女 1名

【田原市 愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2016年5月18日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun160215.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2016年19週報告数			2016年総計(1～19週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	15	5	2	265	67	65
豊田市				27	5	8
豊橋市	1		1	21	1	9
岡崎市				21	7	6
一宮				48	17	9
瀬戸	3		2	42	9	12
半田				18	5	6
春日井	2		1	46	7	12
豊川	2	1		16	5	4
津島	1		1	24	4	9
西尾				11	3	1
江南	2			17	4	2
新城				3		1
知多	1			26	6	8
清須				9	4	1
衣浦東部	3			37	6	6
合計	30	6	7	631	150	159

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	一宮	10歳	男	5/3	5/6	5/11	O157、VT型不明
2	半田	5歳	女	4/21	5/2	5/12	HUS発症例

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	春日井	88歳	男	肺炎型	国内

劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	豊川	94歳	女	国内

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	42歳	男	AIDS	性的接触	国内
2	名古屋市	36歳	男	AIDS	性的接触	国内
3	名古屋市	43歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
4	名古屋市	26歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内

侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	岡崎市	92歳	女	不明	国内
2	津島	84歳	女	無	国内

侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	1歳	男	有	国内
2	名古屋市	80歳	女	無	国内
3	豊田市	64歳	男	無	国内
4	岡崎市	92歳	女	不明	国内
5	岡崎市	2歳	男	有	国内
6	春日井	1歳	女	有	国内
7	江南	63歳	男	不明	国内
8	衣浦東部	91歳	女	有	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	60歳	男	無症候	不明	国内
2	名古屋市	45歳	男	早期顕症	性的接触	国内
3	名古屋市	27歳	男	早期顕症	性的接触	国内
4	名古屋市	32歳	男	早期顕症	性的接触	国内
5	名古屋市	25歳	男	早期顕症	性的接触	国内
6	一宮	41歳	男	早期顕症	性的接触	国内
7	春日井	40歳	男	早期顕症	性的接触	国内
8	江南	24歳	男	早期顕症	性的接触	国内

4月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [()は無症状病原体保有者再掲]

2015～2016年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数	2016年4月			2016年	2015年
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7) 発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7) 結核	76 (22)	69 (13)	145 (35)	585 (148)	1,684 (464)
三類 (5) 細菌性赤痢 腸管出血性大腸菌感染症 腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)	6 (1)
	6 (4)	1 (0)	7 (4)	9 (5)	98 (21)
	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
四類 (44) E型肝炎 A型肝炎 コクシジオイデス症 ジカウイルス感染症* つつが虫病 デング熱 マラリア ライム病 レジオネラ症	0	0	0	0	8
	1	0	1	2	10
	0	0	0	0	1
	0	0	0	2	-
	0	0	0	0	2
	1	0	1	5	17
	0	0	0	0	2
	0	0	0	0	1
	5	2	7	19	99
	五類 (22) アメーバ赤痢 ウイルス性肝炎 内訳 B型 その他 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症 急性脳炎 クリプトスポリジウム症 クロイツフェルト・ヤコブ病 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 後天性免疫不全症候群 内訳 無症候性キャリア AIDS その他 ジアルジア症 侵襲性インフルエンザ菌感染症 侵襲性髄膜炎菌感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 水痘(入院例に限る。) 梅毒 内訳 無症候 早期顕症 晩期顕症 先天梅毒 播種性クリプトコックス症 破傷風 風しん	0	6	6	23
0		0	0	3	15
0		0	0	2	10
0		0	0	1	5
3		1	4	24	80
0		0	0	18	27
0		0	0	0	1
0		0	0	3	8
2		0	2	9	16
2		1	3	23	107
1		0	1	16	60
1		1	2	6	43
0		0	0	1	4
0		0	0	0	4
1		2	3	12	15
0		0	0	1	0
6		4	10	54	161
0		0	0	3	17
6		4	10	55	122
1		2	3	14	43
5		2	7	39	71
0		0	0	2	7
0	0	0	0	1	
0	0	0	3	10	
1	0	1	2	8	
0	0	0	2	13	
総計	110	90	200	860	2,600

* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2016年4月			2016年累計		2015年総計		
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県全体	愛知県全体		愛知県全体		
					愛知県全体 合計	合計	合計	合計	
性感染症定点	性器クラミジア感染症	男	35	39	74	291	503	855	1,501
		女	40	19	59	212		646	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	9	10	19	72	202	224	601
		女	26	22	48	130		377	
	尖圭コンジローマ	男	9	9	18	65	96	217	328
		女	5	3	8	31		111	
淋菌感染症	男	16	22	38	151	179	489	565	
	女	3	2	5	28		76		
基幹定点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		51	7	58	311	1,006		
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		5	1	6	29	92		
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	0	1		

感染症の類型及び定義(感染症法)

2016年4月1日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症* (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症** (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2015年1月21日に「中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)」及び「鳥インフルエンザ(H7N9)」が二類感染症に追加されました。

** 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

